

# イマヌエル教報

2016.

7

1947年7月1日第三種郵便物認可 2016年7月5日（毎月5日発行）

イマヌエル綜合伝道団

No.840

IMMANUEL

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒 1:8）

## 希望を告白しようではありませんか

教育局長 林正弘



「約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。」  
（ヘブル人への手紙 一〇章23節）

今年も下半期に入りました。教団としては、昨年、創立70周年を迎え、今年は大きな行事などが少ない年ともいえますが、熊本地震もあり、特別な年の前半を過ごされた方も少なからずいらっしゃると思います。年の後半を展望すると、今年は、とにキャンとユース・ステーション全国大会の両方が行われる夏を迎えます。聖会は、夏よりも秋に開かれるほうが多いかもしれませんが、各地で恵みの機会が備えられています。そのほかにも、各教会や教区での特別な営みが計画されていることでしょうか。教団を越えた働きとしては、日本伝道会議も開催されます。

さまざまな予定や計画がある一方で、予想もしなかったことに直面することもあるでしょう。それらを含むこれからの歩みを進めるにあたって、私たちは、主にある希望を改めて告白したいものです。

希望がよいものであることを否定する人はいないでしょう。しかし、希望が本当に必要とされ、その真価を発揮するのは、厳しい現実と直面したときです。明るい話題が少ない世の中です。信仰者である私たちが置かれている状況も決して容易なものではありません。将来に明るい展望を見いだせないときこそ、希望が必ずです。「動揺しないで」と記されているのは、揺れ

動く現実があるからです。信仰をもって進めばうまくいくはず、と思っていたら、結果はまったく逆だった。混乱してしまつて、どうしていいかわからない。そのような現実を前に、しっかりと希望を告白することが勧められています。

私たちの希望は、失望に終わることはありません。約束された方が真実な方だからです。私たちは、これまで神さまに裏切られたことがあるでしょうか。私たちの思い通りにならなかったことはあつても、主が約束を違えることはなさらなかったはずで、神さまはたえず真実で、恵みをもって私たちを顧み続けてくださいました。

ですから、私たちは、しっかりと希望を告白しようといわれています。ただ、大丈夫、神さまは必ずよくしてください、といった口先だけの告白は、ある意味で簡単です。しかし、言葉通りに歩んで行くという意味において、しっかりと希望を告白することは簡単ではありません。私たちの信仰の歩みは、時として先が見えず、困難は大きいものです。人知れず悩み苦しむこともあるかもしれません。それでも、忍耐をもって希望を告白していくならば、真実な神さまは、今も、これからも、私たちを導き、永遠の栄光にまで入れてくださいます。私たちは、恐れ退いて滅びる者ではなく、信じていのちを保つ者です。

年の後半の歩みが真実な神さまによって祝福されることを期待して、進んで行きましょう。

- 希望を告白しようではありませんか……林正弘……1
- 夏期聖会、とにキャンとYS,IWF から……2
- JEA総会報告、生涯学習課、KJHA青年大会……3
- 教団HP 紹介、国内局コラム、読書のひろば……4
- 中部ブロック祈りの課題、プローブス師追憶……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

目次

# Immanuel

夏期聖会のシーズンを迎えて

# 教会の広がり と 兄弟姉妹の連携



国内教会局長 内山 勝

「いま私たちは、主があなたにお命じになったすべてのことを伺おうとして、みな神の御前に出ております。」

(使徒の働き一〇・33)

今夏も各地で聖会が開かれようとしています。昨今は、夏に限定せず、秋に開催する教会もありま

す。様々な事情を抱えつつも、何とか毎年開催しようと、祈り工夫して取り組んでおられる先生方・愛兄弟のご労を、主が覚えて祝福してくださいますように。

ある教会では、新しい会場探しに奔走しています。その他様々な困難がある中で、なぜ聖会を開催するのでしょ

うか。それでも皆で神の御前に出る！これこそ、聖会ならではの恵みではないでしょうか。一人でも神さまの声を聞くことはできますし、普段教会に集まって一緒に礼拝しているのですから、それで十分ではないのでしょうか。

「いいえ。聖会は、それ以上の広がりをもって「教会」を体験できるまたとない機会です。キリストのからだとしての教会は、一地域教会に限定されるものではありません。普段は、別々の教会で礼拝しているお互いが、一堂に会して同じからだの一部であることを確認できるこの機会は、とても貴重ではないでしょうか。

普段は自分の属している教会しか見えていない私たちが、視野を広げるチャンスとなります。共に讃美し、祈り、同じ霊の糧をいただくことによって、互いに、主にある「兄弟姉妹」を実感することは、私たちの「教会」理解を大きく広げるものとなるはず

です。さらに、それぞれの教会の特色を知り、課題を分かち合うことよ

よって、普段は離れていても、互いの教会のためにもっと真剣に祈れるようになるでしょう。

ですから、せっかく聖会に集まるのであれば、他教会の兄弟姉妹との交わりが豊かになるように工夫したいものです。互いに自由に分かち合え、祈り合える空間や時間を十分に備えられたら幸いです。

牧師の数が不足する時代を迎えている現在、信徒レベルの交わりがもつと豊かになって、親しい関係を築くとともに、互いの群れの健全な成長のために、助け合う関係へと成長して行くことが必須であると感

じています。もちろん、教会間の秩序を無視するような極端に走ってはなりません

が、「皆で」を意識する聖会を実現しようではありませんか。

## とにキャン&Y ご参加とお祈りを!

教育局 小川宣嗣

「夏は中高生やユースのため

に！」との教団を上げての取り組みが、今夏も継続されます。

今年の全国中高生とにキャンは第9回目を数え、期間は8月9日(火)～12日(金)、会場は今回も非常に設備の整った聖山高原キャンプ場です。テーマは「GACH Iガチ」本気で向き合おう。メッセージは、中高生キャンプ委員会の田辺岩雄、葛田聡毅、大兼久芳規、細田恒太郎の各先生方がリーダー形式で担当します。

翌週は、第5回ユースステーション全国大会。日程は8月15日(月)～18日(木)、会場は奥多摩福音の家、テーマは「迷ったっていいじゃない!」、講師は小坂嘉嗣師(日本宣教会・狭山キリスト教会牧師)です。

案内申込書は各教会に届いています。YS申込締切は7月3日、とにキャンの締切は同10日です。ぜひ中高生、ユースの方々を励まして送り出してください。また若い方々がイエス様とお会いする機会となりますように、背後の切なるお祈りをお願い致します。

WVFからのお知らせ

## 米国WGMと ウェスレアン教会

新しい指導者に交代

竿代照夫/梅田登志枝



ダニエル・シェーファー博士



ウェイン・シュミット博士

2012年から14年間総理を務められたヒューバート・ハリマン師が7月に引退されることを踏まえて、総理選委員会が9か月にわたって種々面談・調査・審議が行われてきました。3月18日、WGM理事会が開かれ、最終的にDaniel Schaefer) が指名され、理事会は全会一致をもってこれを承認しました。

Sheffer) 博士は、オハイオ・クリスチャン大学を卒業、しばらくの牧会を経て、宣教師としてハンガリーで奉仕され、またWGMの行政担当の副総理を務められました。その後、アンダーソン大学でビジネス行政分野で博士号を取得されました。ナザレン宣教師団の副総理を務めるなど、主に教会行政に携わっておられました。同時に聖会などの説教者としても幅広く用いられています。ホーリネス運動を指導して行かれる良い器を得たことを感謝しつつ報告とさせていただきます。(竿代照夫)

\* 米国ウェスレアン教会第13次教団総会が6月4日から8日にかけて、バッファロー・コンベンションセンターにおいて行われ、代議員による選挙によって新しい総理と5人の局長が選ばれました。

新総理ウェイン・シュミット博士(Dr. Wayne Schmidt) は大学を卒業後、1979年にケンウッド・コミュニティー教会で牧会を始め、教会は急激に成長し、教区長の重責をも担われました。その間、インディアナ・ウェスレアン大学やカナダのケンウッド大学で教鞭をとられました。2010年に新設されたウェスレー・セミナリーの副学長として奉仕してこられました。夫人ジャンさんと4人の子供と5人のお孫さんがおられます。専門は牧会神学の「霊性、霊的成長」で、5冊の著作を執筆しておられます。(梅田登志枝)

JEA 総会から……

# 日本伝道会議に向けて 現代の課題を共有する

\*\*\*

神戸教会 岩上祝仁

2016年度の日本福音同盟の総会が、掛川の「つま恋」で開催されました。今年のテーマは九州の熊本大震災と、今年9月に開催される日本伝道会議でした。

初日の6月6日(月)の夜には、九州キリスト者災害対策支援センターを立ち上げるために尽力された二人の先生が証しと報告をしてくださいました。熊本ハーベストチャーチ牧師の中村陽志師が報告され、支援態勢の立ち上げの様子を語ってくださいました。「一回目の地震で被災された教会を支援するために立ち上がり、活動を開始すると、そこに九州の超教派の先生方が結集して支援態勢が整えられていった」とのことでした。

また、九キ災の代表を務める横田法路牧師(日本イエス・キリスト教団福岡教会)からは、これまでの取り組みとこれからについての分析と検証が報告されました。

今回は、日頃の祈りに基づく交わりから、速やかな支援態勢が組



まれたこと、阪神淡路や東日本大震災の経験を生かして、特に被災から1か月目には被災牧師家族のリトリートができたこと、などが報告されました。さらに支援を継続するため必要な手立てを構築しているとの報告がありました。

二日目には伝道会議で行われる15プロジェクトのプレゼンテーションがされました。伝道会議の予行演習も兼ねて意欲的な取り組みと、伝道会議後も見据えて、各々のプロジェクトのリーダーの熱い思いと具体的な取り組みの方向性、それを実行に移す決意表明の時となりました。伝道会議の目玉であるコイノニア研修会も開催され、伝道会議に向かって最終コーナーを回った感じがしました。最後に畑野順一師による閉会礼拝で聖書信仰に留まることこそJEAがJEAであり続ける要素だと力強く語られて、今年のJEA総会は締め括られました。

教育局生涯学習課の働き

## 牧師の継続教育に 積極的に取り組む

王寺教会 田辺寿雄

生涯学習課は、教育局の教育部に属し、牧師の生涯学習を支援するために、現在三つの中心的な働きを行っています。

①機関誌「途上のわれら」年3回の発行。読者は牧師限定ですので踏み込んだ内容です。伝道説教のヒント、失敗談なども含む牧会経験のお話し、時宜にかなった小論などを、毎回様々な先生方にご執筆頂き、掲載しています。

②牧師研修プログラムの企画・実施。これまでは神学院の期別や地域別、テーマ別の研修会を行ってきました。昨年より神学院を卒業して7年以内の牧師を対象としたプログラムが始まりました。すでに2度研修会が開催されています。牧師同士が互いに励まし合える場として、今後の発展と充実が期待されます。

③eラーニング。信徒向け講座もあります。主に牧師が続けて学べる機会として用いられています。これまで、聖書、説教、カウンセリング関連のコースが提供されてきました。

牧師が生涯的に学び、成長し続けることができる環境づくりをこれからも目指して参ります。

## 関東聖化交友会 青年大会 みことばに向き合う青年に

「読むぜ! 聖書」  
をテーマに開催

王子教会 小林 佳

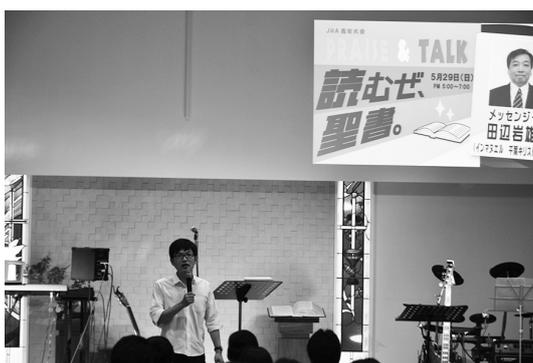
去る5月29日の午後5時から7時まで、チャーチ・オブ・ゴッド川崎キリスト教会において関東聖化交友会の春の青年大会「プレイズ&トーク」が行われました。

今回の大会では「とにかく青年たちに聖書を読む喜びを知ってほしい!」という思いから、「読むぜ! 聖書」というテーマで集会が開かれました。参加者は100名を超え、恵みのひとときとなりました。

集会が始まると、川崎教会の古波津真琴先生のリードによってワークショップが歌われ、皆心を一つにして神様を讃美することができました。

また聖宣神学院の金成星美神学生(東京フリー・メソジスト桜ヶ丘教会)が、自分がどのようにして聖書を読むようになったか、そのいきさつを証ししてくださいました。

さらに、講師にお迎えしたインマヌエル千葉教会の田辺岩雄先生によってメッセージが語られました。



た。「聖書はなかなか一人で読むのは難しい」という青年たちの声を取り上げ、現実的な問題と向き合いながら、「聖書を開いてみことばと出会うことの幸いを経験してほしい!」と力強く語ってくださいました。

集会が終わった後に、幸いな交わりのひとときが持たれました。この大会に参加された青年の一人から「今日をきっかけにもう一度聖書を読んでみたいと思うようになりました」という感想を伺いました。このようにして、一人でも多くの青年が聖書のみことばに触れ、「自分の人生を変える幸いなみことばとの出会い」を経験し、聖化の恵みへと歩みを進めていただけたらと願っています。

今後も教団・教会を超えて多くの青年たちが主にあつて一つとすることができるように、お祈りをよろしくお願いたします。

### 国内教会局から

## 聖い教会を旨として

### 夏のプログラムが用いられて

今年梅雨明けが遅れると言われているが、確実に季節が変わろうとしています。私たちお互いの夏の計画に祝福がありますように祈り致します。この季節、殊更に教会の若い方々のためのプログラムに結実



が豊かであることを祈っております。教会学校のキャンプをはじめ、中高生のにキャン、YSのプログラムなど、若い時に創造主をよく知り、その信仰の中を聖く育まれ、成長が祝福される夏となりますように。また今年新しく結婚サポートシステムが開始し、秋にはカナ・フェロシップやセミナーが計画されています。

結婚や職業選択、そして献身。聖宣神学院も多面的にその働きを展開し、体制を整えています。聖なる神の神殿である主の教会の一員として次世代を担って下さる聖徒たちにとって相応しい選択をする助けとなりますように。「神の神殿は聖なるもの：あなたがたがその神殿です」(1コリント三・16〜17)。(葛田崇志)

## イマヌエル総合伝道団公式サイト リニューアルし、公開しています!

「イマヌエル総合伝道団公式サイト」がリニューアルされました。  
http://www.immanuel.or.jp です。ぜひご覧ください。各部署の紹介や出版事業部の発行書籍の案内も掲載しています。また、青年部や教会学校部、とにキャンなどにもアクセスできます。担当は本部の大津博子姉です。更新などのご要望がありましたら、e-mail: honbu@immanuel.or.jp までお知らせください。\*スマートフォンやタブレット端末でも閲覧できます。



イマヌエル教報で紹介の機会を与えて頂き感謝いたします。この夏の、いこのことは社様より「エデンの物語」旧約の民が読んだ聖書」が出版されます。旧約聖書の入門的な学びの本です。旧約聖書と言うと、長い、難しい、イメージしづらい、厳しい神様とよく言われます。ノア、アブラハム、モーセ、ダビデと主要な人物の話は新約聖書でも取り上げられますし、ご存知の方も多しと思えます。私もこどもの頃は、教会学校でよく旧約聖書の話をお聞きしました。しかし長い間、それぞれの話がいっ、どこで起こった話だった

イマヌエル教報で紹介の機会を与えて頂き感謝いたします。この夏の、いこのことは社様より「エデンの物語」旧約の民が読んだ聖書」が出版されます。旧約聖書の入門的な学びの本です。旧約聖書と言うと、長い、難しい、イメージしづらい、厳しい神様とよく言われます。ノア、アブラハム、モーセ、ダビデと主要な人物の話は新約聖書でも取り上げられますし、ご存知の方も多しと思えます。私もこどもの頃は、教会学校でよく旧約聖書の話をお聞きしました。しかし長い間、それぞれの話がいっ、どこで起こった話だった

イマヌエル教報で紹介の機会を与えて頂き感謝いたします。この夏の、いこのことは社様より「エデンの物語」旧約の民が読んだ聖書」が出版されます。旧約聖書の入門的な学びの本です。旧約聖書と言うと、長い、難しい、イメージしづらい、厳しい神様とよく言われます。ノア、アブラハム、モーセ、ダビデと主要な人物の話は新約聖書でも取り上げられますし、ご存知の方も多しと思えます。私もこどもの頃は、教会学校でよく旧約聖書の話をお聞きしました。しかし長い間、それぞれの話がいっ、どこで起こった話だった

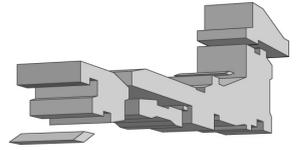
この本が皆様の旧約聖書の深い理解の助けになれば幸いです。(東京FM昭島教会 井上匡朗)

「現代のクリスチャンはモーセの律法をどう捉えたら良いか?」等も取り上げて回答しています。著者のリクター博士は考古学に明るい旧約学の学者です。ちなみに博士は女性です。最新の考古学的資料に基づいて、旧約時代の社会、生活様式などを説明してくれます。また女性特有の視点から結婚、出産、食事や住まいの事などを、丁寧に、現代の私たちの生活に即した例えを用いながら解説しています。私はこの本を読んでいて、旧約時代の家族制度や社会の仕組みは、一昔前の日本のようだと感じました。意外にも旧約聖書が身近に感じられたのです。訳者の藤原氏はアメリカの神学校で直接リクター博士から教えを受けた方です。リクター博士が一つひとつの単語に込めた思いをしっかりと日本語にしてくださいました。

「エデンの物語」旧約の民が読んだ聖書。この本では、エデンで失われた人と世界を神様が贖うということを軸に、旧約聖書を整理していきます。天地創造から新約聖書までを神様の贖いという軸で整理していけば、旧約聖書両方の理解がより深まります。さらにその上で、旧約聖書ならではの疑問、「現代のクリスチャンはモーセの律法をどう捉えたら良いか?」等も取り上げて回答しています。著者のリクター博士は考古学に明るい旧約学の学者です。ちなみに博士は女性です。最新の考古学的資料に基づいて、旧約時代の社会、生活様式などを説明してくれます。また女性特有の視点から結婚、出産、食事や住まいの事などを、丁寧に、現代の私たちの生活に即した例えを用いながら解説しています。私はこの本を読んでいて、旧約時代の家族制度や社会の仕組みは、一昔前の日本のようだと感じました。意外にも旧約聖書が身近に感じられたのです。訳者の藤原氏はアメリカの神学校で直接リクター博士から教えを受けた方です。リクター博士が一つひとつの単語に込めた思いをしっかりと日本語にしてくださいました。



# 国内教会局 スクエア



## 中部ブロックの 近況と祈りの課題

ブロック・アドバイザー  
葛田直毅

西聖書神学校校長の鎌野善三師を講師に開かれる予定です。聖会や教会単位の集会だけでなく、教区ごとにお交わりやお祈り、学びなどもなされています。中京教区は教会同士が近いこともあり、教区合同のファミリー・デーや牧師の祈り会などがなされています。

中部ブロックをお祈りにお覚え下さり、感謝申し上げます。前回、教報に記事を書かせて頂きましたのが3年前で、その間、先生方の転任・異動、引退などがあり、また按手札を受けられて教職としての奉仕を開始された先生方もありました。

静岡教区でも沼津教会が隣接地を購入され、老朽化している現会堂の修復工事を始めておられます。今後、しばらく後に本会堂本体のことも取り組まれる予定です。

中京教区では名古屋教会が会堂問題に取り組みます。

会堂の返済が間もなく終わる教会、またこれから取り組まれる教会もあり、動きのある三教区です。今年には第六回日本伝道会議が開催されることに加え、研修内容が加わったことなどで各教区の教会の日程が変更・延長されていますが、この夏から秋にかけて、それぞれの教区では予定通り聖会が開催されます。

北越教区の福井教会が今年には伝道サポート・システムを活用して特別集会を持たれ、案内を見て新しく来られた方が9名与えられたとのこと。記名された方々もあつたとのことですので、引き続きお祈りください。

北越教区では富山教会が、新会堂の建設に取り掛かれ、先月末に起工式が行われました。

北越聖会は9月18、19日にアンブレラ・スワートアウト宣教師を主講師として、聖会が開かれます。教区全体が南北に長いことや、高齢化などにより、次年度の聖会の持ち方なども検討されています。同じ日に、中京聖会は河村従彦師を講師に開催されます。

静岡聖会は10月9、10日の両日、日本イエス・キリスト教団、現開

西聖書神学校校長の鎌野善三師を講師に開かれる予定です。聖会や教会単位の集会だけでなく、教区ごとにお交わりやお祈り、学びなどもなされています。中京教区は教会同士が近いこともあり、教区合同のファミリー・デーや牧師の祈り会などがなされています。

北越・静岡の教区は教区が広く、集まることはなかなか容易ではありませんが、静岡教区では春に青年大会が開催されました。会堂だけでなく、先生方も高齢になられ、健康の戦いをされつつ救霊と牧会に当たっておられます。今年も特伝で決心者が与えられた教会もあります。一人でも多くの方が救いの恵みに与えられるよう、祈りつつ戦っております。中部ブロック諸教会のために、ぜひお祈りをお願いします。各教会では先月から今月にかけて特集を持っている教会が多くあります。救われる方々が起こされ、それぞれの群が祝されますように、ぜひお祈りください。

新しい「祈りのネットワーク」では、毎月14日から18日にかけて、中部ブロックをお祈りに覚えて頂いております。

\*

南海トラフ、東海地震等、予知できない「予測」がなされている地域でもあります。時の許される間、教会が恵みによって燃やされ、主の証しに用いられる続けますように、なおお祈りをお願いします。

## 追憶

# 故デニス・プローブス先生

2016年3月19日ご召天(享年69歳)

1974年から2012年までの39年間、日本で奉仕されたWGM宣教師のデニス・プローブス先生は、今年3月19日、69歳の地上生涯を閉じて天に帰られました。

プローブス先生はピッツバーグ大学の学生時代にハーミッツ先生(後にWGMの総理)を講師に迎えた特別集会で明確に回心し、大学を中退して、ケンタッキー・マウンテン聖書学校に入学。そこで、聖めの恵みにあずかり、宣教師を志すようになりました。この学校で奥さまと出会いました。

1969年にトレヴェッカ・ナザレン大学を卒業し、奥さまとご結婚。お二人で、ケンタッキー州のウエスレアン教会を牧会されました。その間、州立大学で修士の

学びもされています。日本での39年間の働きは、私たちがよく知っていることです。学生伝道、巡回伝道、神学院での教鞭、聖会や宣教会でのご奉仕。

今年の初め、プローブス先生は体調を崩され、2月の検査でがんであることがわかりました。胃から前立腺にかけてかなりの範囲で広がっていて、なかなか食事も進みませんでした。体力が落ち、手術にも抗がん剤治療にも耐えることができず、3月19日に天に召されました。

ほとんど痛みもなく、いつもお子さんお孫さんたち、また二人のご兄弟、二人の姉妹が病室に集まってきて、共に交わることができたことは、感謝でした。召される前の夜、牧師が見舞いに来てくださったとき、夫が大好きな「キリストにはかえられません」を歌ってください。早朝に召され、それが天国での目覚めとなりました。「よくやった。善かつ忠なるしもべ」との言葉をかけていただき、天国で復活の主を礼拝したと確信しています。みなさまのお祈り、またサポートを感謝します。



(プローブス夫人)藤本満(記)

巻頭言

あなたはわたしを愛しますか



世界宣教局  
野田 禎

「あなたは私を愛しますか」  
(ヨハネ二二章17節)  
岡山の大学で先生をしていた渡辺和子さんの本を読んでいたら、こんな事が書かれていました。し



広げた翼

Immanuel  
His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

ばしば朝一の授業に寝坊して遅刻してくる学生がいました。卒業して彼女が結婚すると知らせを聞いたときに、「大丈夫？朝起きてご主人のお弁当を作ることができるかしら」と思ったそうです。しばらくぶりに彼女と会った渡辺先生は「あなた大丈夫？」聞くと「先生、大丈夫ですよ。わたし、朝5時に起きて、主人のお弁当を作っています」とうれしそうに答える彼女。渡辺先生は「愛は人を変えるものだ」と思ったそうです。  
復活されたイエス様は、ペテロに会い「わたしを愛しますか」と三度聞いてくださいました。主は私たちにも同じように聞いてくださいます。観念的な愛ではなく、毎日喜んで早起きしている彼女が持っているような愛。この愛が私

たちの信仰の中心にあると、自分の十字架を負ってイエス様にお従いすることは、義務でもなんでもなく、喜びになります。私たちのために十字架にかかってくださったイエス様の愛に応えたいのです。だから喜んでお従いできるのです。過日礼拝にミャンマーからお母さんと娘さんが来られました。礼拝が終わってお話を伺ったら「私たちはミャンマーのカチン族、部族はほとんどクリスチャン」と話しておられました。  
仏教国ミャンマーの中で、カチン族だけはほとんどがクリスチャンになったのは、昔、宣教師が入って伝道したことから始まりました。イエス様を愛し、イエス様のことを思うと喜びで溢れるような宣教師が入っていったとき、聖霊が働いてくださり、その部族を変えてくださり、今も生きた信仰をもって励んでいる人たちがいるのです。私は、神様からプレゼントを頂いたような思いがしました。  
わたしを愛しますか。昔愛していたではなく、今愛していますか。その質問に、わくわくするような思いで「はい、もちろんです。イエス様を愛しています」と言えられたら幸いです。讃美歌に「主よ我が主よ」(イ567番)があります。「主を愛するは、今日初めのこちして」。この歌詞にあるように、今日初めて愛するような愛をもって、愛する主を伝えて行きましょう。この福音を地の果てにまで伝えて行きましょう。



CAMBODIA

カンボジア

葛田緑乃\*2016年5月29日

「主は絶えず、あなたを導いて焼け付く土地でも、あなたの思いを満たし、あなたの骨を強くする。あなたは潤された園のようになり、水のかれない源のようになる。」(イザヤ五八章11節)

多くの執り成し手のお祈りの翼のつて合計14時間40分(クアラルンプールで5時間の待ち合わせを含めて)のフライト、足の痺れも特別な問題とならずに無事にノンペンに到着できましたことを心から感謝します。

到着から一週間余り、まだ宿泊所である部屋(教会礼拝堂の2階)や台所とリビング(階下)に必要な生活用品、必要最低限の家具などの設置に時間をとられています。その中で6月2日の子どもの日には初めての試みとして隣接するアパートの家々の子どもたちを対象として、子ども特集のお招きを配布して開拓教会としての活動が開始されました。

子どもだけで40人余、プラスお母さん、お祖母ちゃんが初めて「教会」に足を踏み入れました。国の仏教の規則でトラクト配布や外側に出て行つての伝道活動は禁じられているので、集会の内容も福音を直接に語ることが見られず、少々疑問を感じさせられておりますが、ヴァンディ牧師の話では、もし福音をダイレクトにしましたら、二度と彼らは来ないということで、徐々に働きを継続させるための作戦とのこと、次は8月に特集を、とのことでした。

色々な課題が既に見えておりますが、来週、14日から15日に予定されている全牧師の集まりのためにお祈りくださいましたら感謝です。  
カンボジアの宣教のために引き続きお祈りください。■  
(写真は、現地の子どもの様子です。)





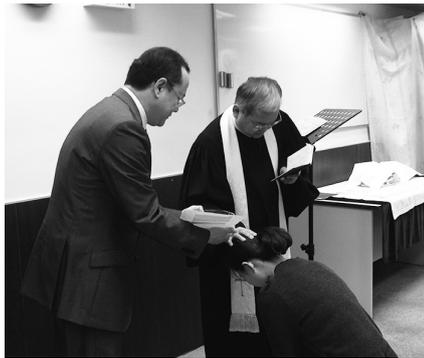
CHINA

香港

鹿島義喜・朱蕙芬\*2016年6月6日

さる6月5日の礼拝は、7周年創立感謝礼拝として捧げることが許されました。ここまで来ることが許されたことは、主の憐れみ以外にはありません。

ただ、去年の創立感謝礼拝は25名で捧げさせていただきましたが、今回は12名でした。数だけに目を止めることの誘惑から守りたいのですが、寂しさを覚えるというのが正直な気持ちです。幹事も新しくなり、この教会で洗礼を受けられた兄弟2名が加わってくださり、3名体制が続けられています。引き続き幹事の働きを担ってくださっていただける方は、7年前の創立礼拝に出られた中で、唯一、今、残っておられる方です。先月88歳を迎えられた姉妹で、健康も支えられて、礼拝・祈祷会と励まされておられます。



真)。ただ彼女も、5月22日に香港メソジスト教会で結婚式を挙げられ、伴侶者がオーストラリアの歯医者なので、オーストラリアで信仰生活と新婚生活がはじめられています。深圳の方は、香港よりもさらに移動が激しい状況です。この3年間は、日本人学校教諭の姉妹を中心に集会を持ってきましたが、姉妹も3年間の契約を終えられて、深圳から杭州の日本人学校の方に移動されました。私たちも深圳の今借りている所が売りに出され、7月10日までに移動しなければならなくなりました。祈りの中、主の御心を求めておりましたが、最終的に広州(番禺)へと導かれました。広州に工場のあるトヨタなど日本企業のスタッフが利用している所(祈福新邨)に良い住まいが与えられました。主の御名を崇めています。7月7日に引越しを考えていますが、そこでのこれからの働きのためにも覚えてお祈りいただけると感謝です。



ZAMBIA

ザンビア

根廻恵子\*2016年6月4日

第2期ザンビア宣教が5月27日の出発をもって始まりました。成田空港から21時の夜の便でしたが、出発前に局長、フィールドアドバイザーの梅田先生ご夫妻、母教会の先生ご夫妻、家族、友人たちが見送りに来てくださり、出発前の良き交わりと祈りによって出発することが許されました。ザンビアの空港(ルサカ)では富澤宣教師が迎えに来てくださいました。久しぶりのようなそうでもないような不思議な感覚でしたが、ザンビアの地で再度でき感謝でした。到着してすぐ、友人や、ザンビアに新しく来ていたクリスチャンの方と会うことも許され良き交わりの時を持つことができました。首都では大使館での必要な手続きや、オフィスに行き挨拶をすることができました。その他に、建設に必要な資材の下見や建設に関わってくれる方との打合せ等々、早速、宣教師館建設の働きに着手しております。



ZAMBIA

ザンビア

富澤 香\*2016年6月10日



病院のシーツの印刷、宣教師館プロジェクトの必要な備え、訪問客と忙しい中5月28日に根廻宣教師をお迎えしました。根廻宣教師には、早速ジェンボ宣教師館プロジェクトの確認をして頂きました。そのような中、ジェンボから水が出なくて3週間になり、仕事に支障が出ているとの連絡がありました。井戸の会社を探していましたが、良いと思われるところはとても高く手が出ないため祈り続

けていました。神様は近くにその値段の四分の一くらいでやってくださるところを与えてくださいました。安いいことゆえに心配もありましたが、井戸掘りの日本人の友人に助けて頂き、支えられつつ、導かれつつ、慎重に井戸を掘ることが許されました。これからポンプを付け、ポンプハウス作り、水タンクへの接続など沢山のことがありますが、備えてくださった主を仰ぎつつ進めさせていただきます。(写真は井戸掘りの様子です)



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子\*2016年6月9日

5月中旬まで日中36度を超える真夏が続いていましたが、下旬より雨季に入り、週2度ほど午後雨が降るようになりました。とはいえ、日中気温は34度を超えています。宣教車の買換のために祈り、捧げて下さりありがとうございました。恵みの内に、新しく宣教車を購入することができました。この宣教車購入に際し、御愛労下さ



たウエスト・アベニュー教会のポール・デ・ロス・レイエス先生には多大なご尽力をいただきました。彼はインターネット、あるいは人脈を通して宣教車を捜してくださいました。たとえ良い車が見つかって、一日でも先送りしてしまうと車は売れてしまいます。口約束などはまったく当てになりません。また、現金がなくては話になりません。そして、盗難車、事故車、浸水被害車でないかの区別、書類の見分け方など、これを取っても素人には難しい業務ですが、ポール先生のたくさんの方の経験がこうした一つ一つのことを解決し、今回の購入に至りました。車種は三菱モンテローロ(日本ではアウトランダー)、2010年式、四輪駆動、ディーゼル、走行距離約6万5千キロでした。念願の四輪駆動で、車高も高いので、これで少しは安心して山岳域の教会を訪問できます。■



いつも台湾宣教の働きのために、篤いお祈りと温かいご支援を感謝します。

今年1月に実施された總統選挙で、台湾初となる女性總統が選ばれ、5月には就任式が行われました。併せて国民党から民進党への政権が交代し、今後の動きが注視されています。台湾が正しく導かれますようにお祈りください。数か月にわたって、洗礼のための学びと準備をしてきたK姉(日本人)が、3月末に信仰に導かれ、ペンテコステ礼拝で受洗されました。幼少期や、海外留学中、また結婚して台湾に来てからも、K姉のご主人(台湾人)のご家族がクリスチャンホームであり、教会やクリスチャンとの接点がありました。けれども、言葉の壁などもあり、ご自身の信仰として捉えきれない長い期間を経ました。3年ほど前に、人間関係の問題を通して、かつて行ったことのあるこの日本語教会のことを思い出し、

約1年前から、神様のこと、信仰のことを求めて、熱心に来会されるようになりまし。直前まで「こんな者が洗礼を受けてもいいのだろうか?」と、悩んでおられましたが、ある日の礼拝のメッセージのみ言葉、「娘よ。あなたの信仰があなたを直したのです。安心して帰るなさい。」とのみことばから、「この神様を信じないという道はない。信じるしかない。」と示されて、罪を告白し、これからの自分を神様にゆだねて、信仰告白されました。引き続き、お祈りをよろしくお願ひします。

◆宣教訪問団・台湾2016開催  
今年の宣教地方訪問団のホスト国は台湾です。数名ごとの自由グループをシャトル形式に、ご希望に合わせて幾つもお迎えできるように準備しています。すでに、3教会から申し込みがあり、日程や訪問内容など、具体的な打ち合わせが始まっています。なお随時受け付けていますので、世界宣教局までお気軽にお問い合わせの上、ご参加ください! 日本に距離も心も近い台湾に、ぜひ、来て、見て、体験してください。■

◆会計報告5月分  
宣教献金 一、七三三、八三三円  
月平均 一、五三二、三四六円  
.....

◆お祈りの課題  
フィリピン(豊田)  
◆新学年度が始まりました。学生

◆と先生方のために。常喜は「ダニエル書 黙示録」ウエスレー神学」を教えています  
◆事故、災害から家族が守られますように。希乃実は校内にある小学校、実和子も校内にある幼稚園に通い始めます。  
◆ボリビア(三森)  
◆リーダーの訓練はさらに続きます。献身して神学部に進む兄弟がなお起こされますように  
◆コト力に加えてプリメロ・デ・マヨ(5月1日という名前の町です)でも礼拝が始まりました。救霊に熱心な群れとなりますように

◆私たちの霊肉の健康のために  
◆ザンビア(富澤)  
◆宣教師館プロジェクトが事故なく様々な問題から守られますように  
◆病院の必要に答えられるように  
◆ザンビア(根廻)  
◆無事にザンビア入りができたことへの感謝

◆宣教師館建設が無事に進められていくように  
◆日本からザンビアに送った荷物が無事に届くように  
◆カンボジア(眞田緑乃)  
◆KCCの伝道者の霊的開眼と信仰の成長のため

◆KCCの諸教会の伝道活動、救霊戦に御霊のお働きを拝するところができるように  
◆眞田の足の痺れが癒され、御用を果たす事ができるように  
◆ケニア(眞田就子)

◆移動が守られている感謝  
◆聖会週の祝福の為に  
◆正しい福音の伝達のために病院が用いられ、異端から守られるように  
◆香港(鹿島)  
◆8年目の歩みの中、一人ひとりの霊的成長と新来会者が加えられますように  
◆牧師夫妻の健康が守られ、7月10日以降の香港と瓜州を往復する生活が支えられますように  
◆香港と近隣地域で邦人伝道の働きが広げられますように

◆台湾(平瀬)  
◆救われる方が起こされますように(台中・台南の信仰入門クラスの継続開催と祝福のため)  
◆今は梅雨(雨季)の時期ですが、空梅雨で、異常高温超多湿です。健康と生活のみ守りのため

◆宣教師訪問団が参加者と教会を受け入れる台中教会、台南集会の双方にとって恵みの時となりますように  
◆台湾の政治や経済、治安の安定のために  
◆東京国際教会(眞田康毅・由理)

◆諸師を迎えた新体制の中で、教会が信仰によって一つになって前進できるように  
◆祝されている教会学校の中で、子供たちと家庭に福音が浸透するよう  
◆教会の青年の信仰が健全に成長できるように(日語・虹の会、オリーブの会、華語・社会青年、学生青年)

# 聖宣神学院報



## Immanuel Bible Training College

### 語ること、聞くこと

院長 ● 河村 徒彦

「主は、私に弟子の舌を与え、ことばで励ますことを教え、私が弟子のように聞くようにされる。神である主は、私の耳を開かれた」  
(イザヤ五〇・4、5)

わたしたちが生活や奉仕の場でコミュニケーションするとき、「語る」と「聞くこと」の割合はどれくらいだろうかと考えることがあります。牧師の奉仕で大切なことは「聞く」ことです。説教は、聴衆の皆さまが聞いてくださるのですから、他のところでは「耳を傾ける」のが奉仕です。わたしたちが生活や奉仕の場で

ことばをかわすとき、「情報をあげる会話」と「情報をもらう会話」の割合はどれくらいだろうかと思えることがあります。自分が知っている情報を自慢げに相手に渡すだけでなく、へりくだって質問してみると、たくさん情報を得ることができそうです。他の方々から教えられるのが奉仕です。わたしたちが生活や奉仕の場でことばを発するとき、「ポジティブな言い方」と「ネガティブな言い方」の割合はどれくらいだろうかと思えることがあります。ここが足りない、あそこが足りない、ではなく、ことばが励ましになる

ような肯定的メッセージであったらすばらしいと思います。欠けがあっても、自分にとつて本意でなくとも、暖かく見守り、暖かいことばかけをするのが奉仕です。

わたしたちが生活や奉仕の場で思いをことばにするとき、「人をほめることば」と「自分をほめてほしいという思い」の割合はどれくらいだろうかと反省することがあります。人の良いところを見て、シンプルに「すばらしいですね」と言える、それも恵みの奉仕です。

語ることは簡単でも、聞くことには恵みが要ります。欠けの指摘は簡単でも、肯定メッセージを発するには恵みが要ります。「主が私の耳を開かれた」とあるように、主がどこかで恵みのシフト・チェンジしてくださる。そのあり方が、ことばにならないイエスさまの恵みの証しになるのでしょうか。



キャンパスを入ったところに咲いているアジサイ

### 神学エッセー

## パウロ研究の最新事情 「新しい視点」から1



岩上敬人

最近、クリスチャン新聞を初め

として、さまざまなクリスチャンメディアで「パウロ研究の新しい視点」という言葉が取りざたされています。皆さまの中にも小耳にはさんだことがある、という方がいらつしやるかもしれません。今から担当する神学エッセーでは、1970年代から始まったパウロ研究の流れを少し紹介したいと思えます。

宗教改革以降、キリスト教は「信仰義認」の宗教であり、ユダヤ教は「律法義認」の宗教であるというパラダイムが新約聖書学の世界では主流を占めていました。もちろん、その論拠は、使徒パウロがローマ書やガラテヤ書で「信仰」と「律法の行い」を対極に置いたからです。しかし、70年代から、死海文書を初めとするユダヤ教文書の研究が進められ、一世紀ユダヤ教に対する一定の理解に、挑戦が投げかけられるようになったのです。その先鋒となったのがE・P・サンダースという学者です。

彼は、一世紀ユダヤ教がこれまで、不当に歪められて理解されてきたと主張しました。一世紀のユダヤ教は決して、律法の行いによって救いを獲得する宗教ではなかったと言ったのです。むしろ、神との契約が大前提としてあり、恵みに対する応答として、律法順守が求められていたのです。サンダースによると、一世紀ユダヤ教は「恵みの宗教」であり、その宗教の型は「契約遵法主義 (covenantal nomism)」だったのです。

こうして、サンダースの研究は、欧米の新約聖書学に大きな衝撃を与えました。英国のダラム大学教授のジェームズ・ダンは、サンダースを批判し、修正を加えながらも、大枠ではその主張を受け入れ、これまでのローマ書やガラテヤ書の理解とは違う、「新しい視点」であるとして論文を発表し、さらにローマ書の注解書も出版しました。そこから「新しい視点」という言葉が使われるようになったのです。

注意すべき点は、これは神学の分野から出た問題ではなく、あくまでも新約聖書学の分野、特にパウロ研究にとって重要な「一世紀ユダヤ教」の歴史的、神学的理解についてであり、解釈上の問題だったという点です。ところが、このような刺激的な表現は、改革派、ルター派神学の伝統に立つ学者から大きな反発を招き、「新しい視点」をめぐる議論が展開されていくことになるのです。

◆神学院の学びの中で

背伸びせずに……

聴講生 伊藤安司

神様から与えられた使命を受け、神学院での聴講生となって、2年目に入りました。今年度も水日が休みのため、水曜日が学びの日となり、多様な今年度となること間違いありません。

6月13日に夢を見ました。「テスト中に私がカンニングし、それが教師にバレたというストーリーです。ちなみに教師は母でした。」私はハッと気づかされました。いま、聴講生の立ち位置を良くしようと背伸びして生きているのかもいけないこと。立ち位置を崩さぬように。周りの情報を必死で集めて、キープ・向上しようとしているのではないか。しかし、神様の愛は大きく私が背伸びをしなくても、ミッションを与え続け、支え続けてくださっていることを感じました。だからこそ、今年度は背伸びすることなく学ぶことを意識していきます。だからといって怠けるのではありません。まことのいのちを得るために学ぶのです。そして、福音を分かち合うために学ぶのです。2年目の学びがスタートし、文化適応人類学、教

会論を学んでいます。イエス様が私たちとコミュニケーションをしたくて、受肉してくださったこと。それがこんなにもすごいことなのか。と驚くと同時に私たちは間違いないと、神様に愛されていることを再確認できるときであります。

私が牧師になるまで、あと6、7年……この期間でじっくりと基盤を築き、どんな人が来ても福音が分かち合える人と成長させていた。ただ恵みの期間となると信じています。

「まことのいのちを得るために、未来に備えて良い基礎を自分自身のために築き上げるように。」

神学院のためにお祈りし、ご支援くださる兄弟姉妹の存在に多くの励ましを受けるとともに感謝申し上げます。

◆神学院の学びの中で

宣教の秘訣

シニアコース 大塚千穂子

この春、新しく出版されたバックストンの赤山講話を図書館で手にしました。現代語に替えられた、平易で分かり易い講話からバックストンの温かく優しい人柄が伝わってきました。そして、バック

宣教論のクラスで、宣教師の伝記の読書レポートが課題として出されました。迷わず、バックストンを選びました。

裕福なクリスチャンの家柄で将来を嘱望されていたバックストン。そんな彼に神は召しの声を掛け、未開地への宣教のビジョンを与えられます。日本にやって来た彼は、松江で多くの子弟を教え、多くのキリスト教会のリーダーを生み、育てます。何度か、英国に帰国しますが、日本の宣教のために再来日します。何がそこまでバックストンを日本の宣教に駆り立てたのでしょうか。

同じクラスでライト著「神の宣教」を学んでいます。「宣教は神のなされる業である」というのがライトの言わんとしていることです。卒業を目の前にし、基礎的な聖書の学びや神学の知識が十分でな



オープン・キャンパス委員会 神学生が企画・運営します

いことに気付き、恐れと不安を抱いている者です。ですが、この二人の方から、宣教の秘訣を教えていただいたように思います。バックストン師からは、日々の聖書研究を地道にしていく事を、また、ライト師からは、自分の力で物事を行ってゆくのではなく、神によってなされる神の業を経験していくのだという事を。

神学院での学びは終了しても、主の導きと助けによって学び続け、神によってなされる宣教の様を見させていただきたいと願う者です。足りない者をも省み、助けてくださる主にお頼りしていきたいと祈っています。(ヘブル二二・1)

◆神学院の学びの中で

神さまからの宿題

短期コース 戸塚雅昭

「そして言った。『イエスさま』(ルカ二三・42)

二年目の学びに入り、お祈りに支えられていることを改めて実感しております。感謝いたします。私にとって最近ますます鮮明になってきたことがあります。それは、福音の本質はイエスさまそのものだという一点です。学べば学

ぶほど、神学も教理も、キリスト教という宗教の枠組みさえも、結局は人間の考えや立場によって生み出された、相対的なものに過ぎないのではないかと思うようになってきました。多くの人が飢え渴いて求めているのは、より普遍的な恵みの存在なのかもしれません。そのお方こそがイエスさまだと、私は聖霊の働きによって気づかされた者です。イエスさまの救いを伝えようとすればするほど、遠ざかっていく人々。イエスさまの本来的すばらしさを、私がかえって妨げているのではないか。キリスト教という単なる一宗教ではないこの福音を丸ごと、どのように表現し、お伝えしたらいいのか。今になって、私には神さまから大きな重い宿題が出されています。

ときどき私は、神学院本館二階の礼拝堂の椅子にひとりたたくずみ。そして、聖霊の不思議な臨在感と共に、先輩の諸先生方のさまさまな声なき声が響いてくる気配を感じ取っています。私はわずか二年間の通学生。かつてこの場で血のにじむような厳しい学びと訓練を受けた多くの先生方には申し訳ないほどの、ゆるい献身者生活。果たしてあと八か月で牧会の現場に立てるのだろうか。しかし、私のような者でも耐えられるような環境を備えてくださったのは神さまでした。これからも一方的な恵みにゆだね、神さまにしていた



# 公報

## 本部通達

「もし、私が、きょう、あなたがたに命じる命令に、あなたがたがよく聞き従って、あなたがたの神、主を愛し、心を尽くし、精神を尽くして仕えるなら、わたしは季節にしたがって、あなたがたの地に雨、先の雨と後の雨を与えよう。」(申命記一一・13、14)

下半期に入りました。暑さが増し加わるなかですが、信じる者に折りになかった恵みを注いでくださる主を仰ぎ、ともに主にあつて進みましょう。

各教区、各教会で夏の諸プログラムのために多くの祈りと備えが積みまわっています。主の恵みが豊かに注がれ、各集会の目的が果たされますように、特に、若い方たちの内に、大いなるみわざがなされますよう、全国で祈りの手を挙げましょう。

### ■本部

26日(火) 教団運営委員会(会議)

■総務局  
 ▽事務処理を円滑にするため、月報送付の歳、表書きに「月報在中」と記していただくと助かります。

▽本部の会議室を使用される場合、担当者の負担軽減のため、「会議室使用申込書」に必要事項を記入(入力)の上、提出していただ

くよう、ご協力ください。

### ■国内教会局

▽今月末から各地域の聖会が始まります。聖会の開催情報(\*)は下段のリストを参照してください。

▽引退、休養等の意向のある牧師は、8月末までにブロックアドバイザーにお申し出ください。

### ■世界宣教局

▽今月15日(金)～19日(木)、大宮教会の宣教チーム4名が台湾を訪問する予定です。祝福をお祈りください。

▽ケニアでは、来年行われる大統領選挙に向けて、政情・治安等が不安定になりがちです。格別にも守りをお祈りください。

### ■WF関係

▽先月初旬にもたれた米国のウェスレアン教団総会において、新総理としてウェイン・シユミット師が選ばれ、新体制での働きが開始されました。総会に先立って行われた宣教師大会にアンドレア宣教師とロビン宣教師が出席され、祝福を受けられました。

### ■教育局

へとにキャン)

◇第9回全国中高生とにキャン

日程:8月9日(火)～12日(金)

会場:聖山高原キャンプ場

テーマ:「GACHI ガチ」

へユースステーション関係)

◇ユースステーション全国大会

日程:8月15日(月)～18日(木)

会場:奥多摩福音の家  
 テーマ:「迷ったっていいじゃん

い！」

講師:小坂嘉嗣師(日本宣教会・狭山キリスト教会牧師)

### ■聖宣神学院

▽秋の入学審査は9月5日(月)、願書提出期限は8月22日(月)です。召命を受けて主の奉仕に進まれる方が備えられるようにお祈りください。

▽神学院祈り会は7月5日(火)午後6時から、メッセージは内山勝先生です。

▽オーブン・キャンパスのご案内  
 10月21日(金)午後から22日(土)昼まで。将来神学院で学ぶことを考えておられる方、神学院を支援して下さっている方、ぜひご参加ください。部分参加も歓迎です。

▽信徒土曜講座はまだ申込が可能です。

\*各地域の聖会開催情報)

◇ポプラ聖会(北海道教区)

8月10日(水)～11日(木)

講師:岩上輝雄師、ロビン師  
 会場:札幌教会

### ◇東北聖会

7月26日(火)～28日(木)

講師:田中敬康師  
 会場:いこいの村岩手

### ◇北関東聖会

10月9日(日)～10日(月)

講師:梅田登志枝師  
 会場:日光オーリーブの里

### ◇東関東聖会

9月21日(水)～22日(木)

講師:石田学師(日本ナザレン教  
 発行人 藤本 満 編集者 北田直人  
 発行所 東京都千代田区神田駿河台一

団小山教会)

会場:市川サンシティ

◇林間聖会  
 8月4日(木)～5日(金)

講師:梅田登志枝師  
 会場:OCCビル

### ◇静岡聖会

10月9日(日)～10日(月)

講師:鎌野善三師(日本イエス・キリスト教団関西聖書神学校校長)

会場:磐田グランドホテル

### ◇中京聖会

9月18日(日)～19日(月)

講師:河村從彦師  
 会場:刈谷市産業振興センター

### ◇北越聖会

9月18日(日)～19日(月)

講師:アンドレア・スワトアウト師  
 会場:呉羽ハイツ

### ◇関西聖会

11月3日(木)

講師:田辺寿雄師・岩上祝仁師  
 会場:大阪伝法教会

### ◇中国聖会

9月18日(月)～19日(火)

講師:田中進師  
 会場:KKRホテル広島

### ◇四国聖会

8月2日(火)～4日(木)

講師:田辺寿雄師・岩上祝仁師  
 会場:セントラルホテル鴨島

### ◇九州聖会

8月16日(火)～18日(木)

講師:朝比奈悦也師  
 会場:阿蘇の司ピラパークホテル

### ◇沖縄聖会

11月2日(水)～3日(木)

講師:藤本満師  
 印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇  
 OCCビル イムマヌエル綜合伝道団本部

会場:聖クララ修道院

# 消息報告



▽5月21日、静岡教会の尾澤拓也・潤師ご夫妻のご家庭に、第4子三男が誕生されました。お名前は「幸也(ゆきや)」君(詩篇七三・28から)です。祝福をお祈りしましょう。

▽6月14日、ブランドン・久芳宣教師(WGM)と廣瀬いずみ師(下関教会)の婚約式が藤本代表の司式によって行われました。秋に結婚式を行い、下関で奉仕をされます。祝福をお祈りしましょう。



▽「祈りのネットワーク2016」の住所訂正をお願いします。

彦根教会の住所が以前のままになっていました。正しくは、

〒522-0043

滋賀県彦根市小泉町93-1  
 電話0749(23)4068

新生宣教団 定価 一部〇〇円(税込)  
 郵便振替 001107133609